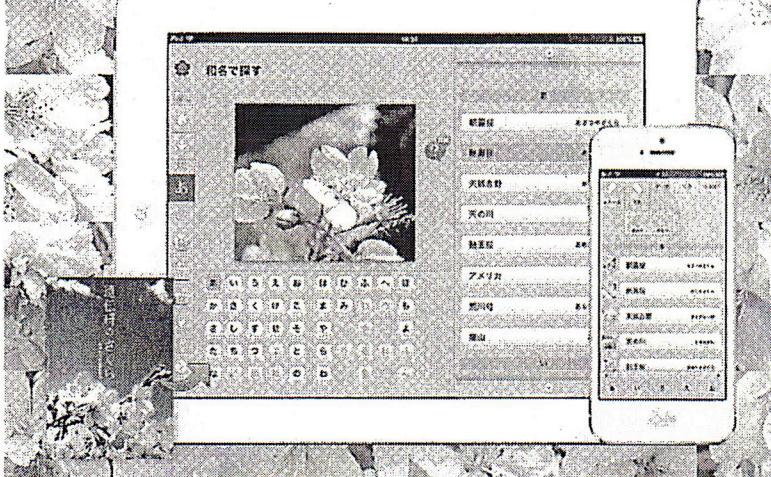


国内最多

195種収録



バージョンアップした「さくら図鑑」

恭和 「さくら図鑑」更新

自動車部品、家電、医療機器などのデザイン開発を手がける恭和（本社：静岡市駿河区吉田、太田則明社長、電話054・267・2190）は、財団法人遺伝学普及会

の195種のサクラを収録している。

同アプリは、サクラの中心品種「ソメイヨシノ」の起源を探った研究者が同研究所に遺したサクラの特性をまとめた本「遺伝のさくら」をベースに2013年に販売開始している。

和名、学名、花の色など 6種の項目から検索

（国立遺伝学研究所）、グループ会社のトライティックと共同開発、販売している、サクラの品種、特性などをまとめたiPhone・iPadアプリ「さくら図鑑」をver.1・05にアップデートし、このほど公開した。

新版は新たに46種類のサクラの品種を追加。新規は「麒麟（きりん）」「手弱女（たおやめ）」「鬱近（うこん）」「楊貴妃（よしきひ）」など、普段目にすることない珍しい品種も数多い。写真も239枚に上り国内最多

紅、紅虎の尾、八重曙の3種のほか、市民にお馴染みのソメイヨシノ、河津桜の計5品種を収録している。

同社では、新バージョンのアプリをこれから

和名、学名、花の色など6種類の項目からサクラを検索でき、各品種の特徴、開花期の解説などが閲覧できる機能を持つ。

恭和では無料版（機能制限版）アプリ「さくら図鑑FREE」も公開。同研究所特有品種の染井

の収録数を誇る。